

イノベーションの創出 に向けて

下條真司
大阪大学/NICT
2015.03

イノベーションの創出のためには

- ・ 課題を発見し、デザイン思考で取り組む
- ・ 早いサイクルで、構築、計測、学習(プロトタイプング)を繰り返す
- ・ ユーザー参加型、対話型
- ・ オープンイノベーション

課題解決のためのICT

- ・ 自動運転、ロボット
介護
- ・ パーソナルデータの
活用
- ・ IoT
- ・ 社会的な実証実験
- ・ ユーザーの受容性の
醸成
- ・ 制度設計が必要
- ・ さまざまなトライアル
が必要

実証実験≠テストベッド

- ・ オープンイノベーション
- ・ プラットフォーム
- ・ 制度設計
- ・ 標準化

Living Lab

Smart Santander



Tuba: Tube A Experimentation Urbaines



課題: 課題A 大規模スマートICTサービス実証基盤を用いたアプリケーション実証
提案課題: 日欧が連携する都市型Smart ICT実験環境の創出とアプリケーション実証
FESTIVAL: FEderated interoperable SmarT ICT services deVelopment And testing platforms



提案者名: 大阪大学、ナレッジキャピタル、立命館大学、京都産業大学、JR西日本コミュニケーションズ、アクタスソフトウェア、社会システム総合研究所

EU側提案者名: CEA Leti, Universidad de Cantabria, Engineering, Easy Global Market, Inno TSD, Ayuntamiento de Santander, Sopra

NICTが設置する大規模Smart ICTテストベッドJOSEと欧州で開発が進められてきた様々なテストベッド技術と実証実験の経験を連携させ、種々のセンサーから得られるデータをビッグデータとして解析し、新たな価値を生み出すサービスを生み出すことを目的とする。そのため、うめきた（大阪市）、リヨン駅、サンタンデルという都市で省エネ、ショッピング、街ナビといったサービス開発と都市生活者を含めた実証実験を行うことにより、プライバシー、セキュリティに配慮した都市におけるスマートサービス開発のビジネス化に対する知見をうることを目的とする。



Grand Lyon, métropole intelligente

Smart Santander

センサー、アクチュエータ、カメラ、ユーザ端末等

SOCIOTAL: IoT business platform

BUTLER: IoT platform

Autonomous M2M platform

Scalable and Secure WoT platform

実験的プラットフォームの連携

xEMS

PIAX: P2P Interactive Agent eXensions

testbeds

計算リソース&ストレージリソース

機械学習分散処理フレームワーク

Smart Energy

Smart Community

Health care

高付加価値都市サービスの創造

Smart Shopping

Smart Building

Smart Home

Grand Front Osaka, Knowledge Capital

ICT研究開発における国の役割

継続的な

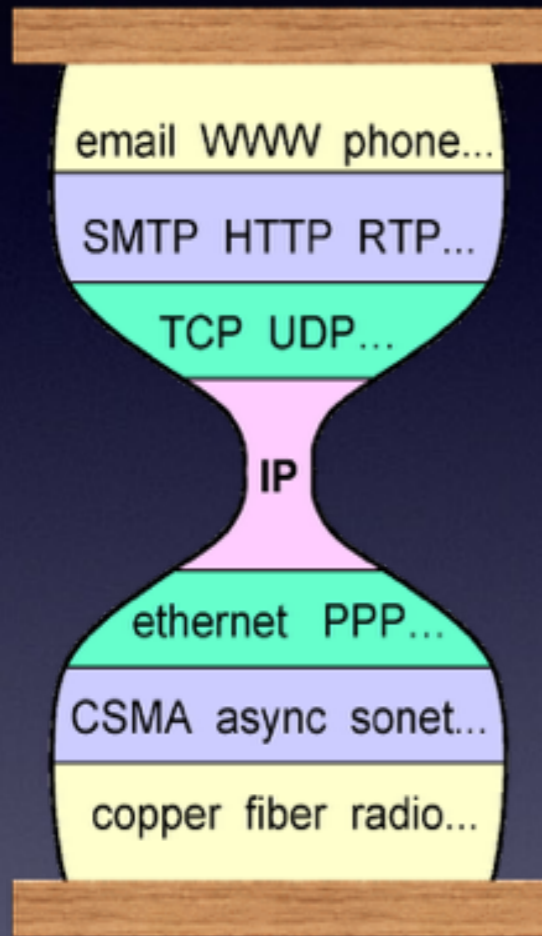
- ・ 基礎研究への投資
- ・ プラットフォーム、エコシステムの形成
- ・ 国際貢献、連携
- ・ 研究開発から制度設計へ
- ・ コンセンサスの形成
- ・ そのための人材のプール

評価 = KPI

- ・ ≠論文数、特許
- ・ イノベーション会計 = 市場創造につながるか

新たなテストベッドのあり方（議論中）

IoTによるサービスイノベーションと
インフライノベーションがつながる、
次世代のICTエコシステムの確立



インターネットによる
旧来のイノベーションエコシステム
グローバル通信基盤としての
Internet Protocol (IP)により
その上下のレイヤで多様な技術が独自進化

アプリケーション開発

フィールド実証実験

スケーラビリティ検証

既存IoT技術との共存

国内外 IoT テストベッド連携

ClouT/FESTIVAL
FI-PPP/Smart America

スマートシティの
取り組み

耐災害ICT技術

工場、ビル制御

サービス・インフラ
融合の仕組み
(サービス仮想化)

